

# 蝉

作詞 武田 喜美代

作曲 橋口 孝志

Andante

Voice

せみが鳴いてい る。

Piano

5

Vo.

ただひとすじに。 きょうのいのちを かけて

Pno.


9

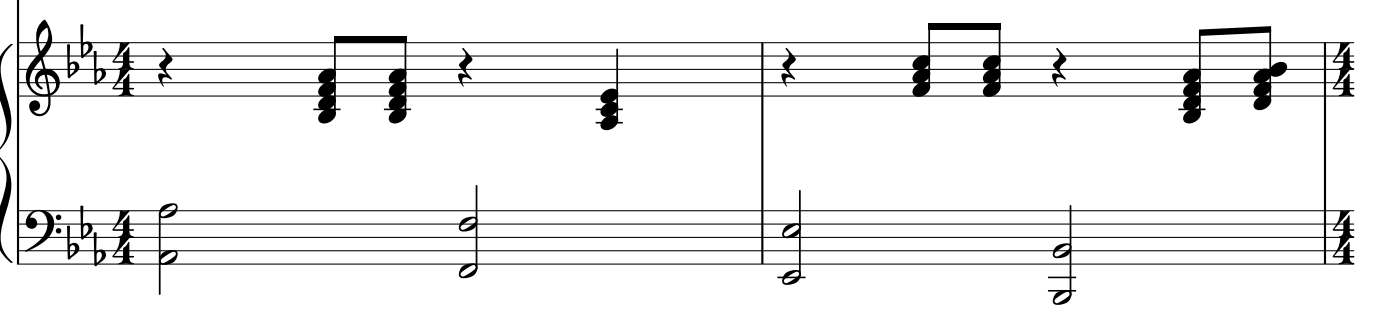
Vo.

鳴いているその こえが うぐいすのさえ ずりより

Pno.

13

Vo.    
 も み に く い の を 知 っ て い る の か 知 ら な

Pno. 

**Allegretto**

15

Vo.    
 い の か。 ゆ う や み の せ ま っ た

Pno. 

18

Vo.    
 う ら や ま で ほ ら、 ま だ あ ん な に 鳴 い て い


Pno. 

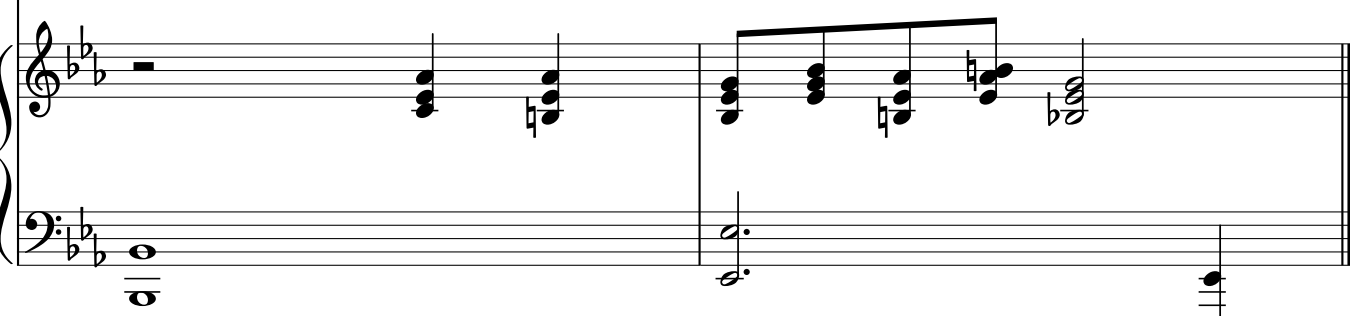
22 **rit. Tempo primo**

Vo.    
 る。 きょうをかぎりにも 鳴くせみの ひ とすじなところが

Pno. 

26

Vo.    
 う つ く し い。

Pno.  **rit.**

蝉

作詞 武田 喜美代

蝉が鳴いている ただ一筋に  
 今日のいのちをかけて  
 鳴いているその声は  
 驚のさえずりよりも醜いのを  
 知っているのか 知らないのか

夕闇の迫った 裏山で  
 ほら、まだあんなに鳴いている

今日を限りに鳴く蝉の  
 一筋なところが 美しい